



年 組 名前

道新でワークシート



しま模様 大地の息吹 訓子府の畑

【訓子府】鮮やかな緑色、輝く黄金色、茶色と、そして…。高度約2千メートル（約600メートル）を飛行するヘリコプターの窓から、陽光に照らされた美しいしま模様が見えてきた。ここは、訓子府町内の畑の上空だ。

町農林商工課によると、しま模様は「写真」を形成しているのは、上から順に、畑にすき込んで肥料にする「緑肥」用のエン麦、トラ豆、収穫後のタマネギ畑で、手前のくすんだ緑色はコーン。乾燥中のタマネギを入れたコンテナが不規則に並び、ユニークな模様に見えた。

訓子府は基幹産業が農業で、主要作物はタマネギ。昨年の農業生産額は約147億円だった。1897年（明治30年）に高知県の北光社移民団が入植してから、開町121年目を迎えている。そんな町を空から眺めると、先人たちが開墾し、受け継いできた力強さの源泉を感じた。

写真・大石祐希
文・菊池圭祐

2017年9月27日朝刊北見・オホーツク版（記事は再編集しています）

①写真のしま模様（もよう）は、4つの色からできています。本文の1行目に書かれている「鮮（あざ）やかな緑色、輝く黄金色、茶色と、そして…。」の、「…」に当てはまる4つ目の色を本文中から抜き出して答えましょう。

②しま模様の色が違うのは、育てられる作物が違うからです。では、上から正しい作物順になっているものを次の3つから選んで答えましょう。

- ア. トラ豆 → エン麦 → タマネギ → コーン
 イ. エン麦 → トラ豆 → コーン → タマネギ
 ウ. エン麦 → トラ豆 → タマネギ → コーン